

知の交流楽しむ

—新潟県 SSH 生徒研究発表会—

- ◇日 時 令和元年7月25日(木)
◇場 所 アオーレ長岡(新潟県長岡市)
◇参加者 小又美裕(36H)・佐原愛花(36H)・関口皓元(36H)・中西萌々花(36H)
・佐野龍一(37H)
◇引率者 山下卓弥先生

私たち理数科学科生徒5名は、新潟県SSH生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKAに参加し、発展探究の化学班で研究した内容について、「Paper yellowing - preserving and bleaching - (日本語題:紙を日焼けから救うために)」という研究テーマでステージ発表とポスター発表を行った。



アオーレ長岡は隈研吾氏がデザインを手がけたという先進的で洗練された雰囲気のある大きな会場だった。900人を超える観衆の視線が集まるという特別な空間でのステージ発表は、緊張感の中、英語で行った。発展探究Bに取り組む中では、異なる言語で考え発表すると、今まで気がつかない見方も発見できた。

ポスターセッションでは、活発な意見交換を楽しんだ。自分達の発表の時には、発表に熱心に耳を傾けてくれる聴き手によりよく伝わるように発表し、全力で質問に答えた。他校の発表には疑問点を探しながら聞き、たくさん質問をしてお互いに理解を深めた。「なるほど」と感心させられる点も多くあった。

ポスターセッション終了後に生徒交流会が行われた。交流会では、他校の生徒と6人で構成されたグループで、水の入ったペットボトルの重さに耐えられるペーパーブリッジを作り、その耐荷重を競った。初対面の高校生たちとの交流は不安もあったが、限られた材料をどう使えば頑丈なペーパーブリッジになるかを皆で試行錯誤しているうちに打ち解けることができ、互いに地元の特色なども親しく話し合うことができた。新たな知見を得、学問に向かう意識を互いに高め合う有意義で充実した交流会となった。

